

召会の性質

聖書：I コリント 1:2, 12:12, エペソ 1:19-21, 2:6, 3:16-21, 4:4-6, 16, I コリント 6:17

I. 召会は、神聖であり、「キリスト的」であり、「復活的」であり、天的です：

A. 召会は神のものです——I コリント 1:2, 10:32, 11:16：

1. 地方召会は、神の神聖な性質を所有する神の召会でなければなりません——II ペテロ 1:4。
2. 「神の召会」という表現が示しているのは、召会が神に属しているということだけではなく、また召会が神の性質を持っていなければならないということです。

B. 召会は「キリスト的」です——I コリント 12:12, エペソ 1:22-23：

1. あらゆる地方召会は、キリストの召会であり（ローマ 16:16）、キリストの要素の中になければなりません：
 - a. キリストは召会の性質であり、召会は実は、キリストご自身です——コロサイ 3:10-11。
 - b. キリストに欠けるどのようなものも、あるいはキリストでないどのようなものも召会ではありません。
2. 召会はキリストから出た純粋な産物です——エペソ 4:15-16：
 - a. これはエバによって予表されています。エバは、完全に、全体的に、純粋にアダムから生み出されました。エバの中にあつたものは何であれ、またエバであつたものは何であれ、アダムのものでした——創 2:22-24, エペソ 5:30-32。
 - b. 召会はまた一つの要素、すなわち、キリストの要素からのものでなければなりません。キリストの要素以外に、召会の中には他の何の要素もあるべきではありません——コロサイ 3:10-11。

C. 召会は「復活的」です——ヨハネ 11:25, 使徒 2:24, 啓 1:18, 2:8, 10：

1. 召会は絶対的に復活の中にある実体です。それは天然的ではなく、また旧創造の中にもありません。
2. 召会は新創造であり、キリストの復活の中で、復活したキリストによって創造されました。ですから、召会は「復活的」です——ガラテヤ 6:15, II コリント 5:17。
3. 召会は復活の中でキリストによって生み出されました。そして彼の復活の命によって存在しています。こういうわけで、召会は死に耐えることができる存在です。

D. 召会は天的です——エペソ 1:19-21, 2:6：

1. 召会は昇天におけるキリストの中にあります。召会はキリストと共に復活させられました。そして今や、キリストの中で天上に座しています——6 節。
2. 召会が天的であることの主要な意義は、召会が神の権威の下にあるということです——マタイ 28:18, ダニエル 4:26, 34-35：
 - a. 召会の性質は、神の権威に服従するというものです。
 - b. 天に属する特別な性質は、それが神の権威に服従するというものです。このゆえに、天的であることは、神の権威に服従する性質を持つことです——マタイ 6:10, 18:18-19。

II. わたしたちは召会の性質を保つことにおいて目を覚ましており、忠信である必要があります——マタイ 13:31-32 :

- A. 召会は野菜のようであって、食物を生み出し、神と人とを満足させるべきです—— 31-32 節前半。
- B. 召会の性質と機能は変わってしまったので、鳥が宿る場所である「木」となってしまいました—— 32 節後半, 4, 19 節。
- C. 召会は、その天的で霊的な性質によれば、からし菜のようであり、地上で寄留しているべきです。しかし、召会はその性質が変わってしまったので、木として地の中に深く根ざし、住み着いてしまいました—— 31-32 節。

III. 召会は神と人のミングリングです——エペソ 3:16-21. 4:4-6, 16 :

- A. 神と人のミングリングは、聖書の中の深い中心的な真理です—— I コリント 6:17. ヨハネ 14:20. 17:21-23。
- B. わたしたちは、召会の原則を、すなわち、召会が人とミングリングされた神であることを把握しなければなりません——エペソ 4:4-6 :
 - 1. 召会は単に神であるだけではなく、また単に人であるだけでもありません。もし召会が単に神であるだけであつたり、単に人であるだけであつたりするなら、召会の性質を失ってしまうでしょう。
 - 2. 神と人のミングリングは、召会の性質を現します。
- C. 神の唯一の定められた御旨は、彼ご自身をわたしたちとミングリングすることです。それは、彼がわたしたちの命、性質、内容となり、わたしたちが彼の団体の表現となるためです——ヨハネ 14:20. 15:4-5. エペソ 3:16-21. 4:4-6, 16 :
 - 1. 神と人のミングリングは、神性と人性の要素の内在的な結合であり、一つの有機的な実体を形成しますが、その要素はその結合の中で区別することができます。
 - 2. 神のみこころは、神と人とのミングリングです。神の永遠の定められた御旨を完成することは、このミングリングにかかっています—— 1:5, 9. 3:11。
- D. キリストのからだは、キリストの拡大、すなわち、神と人のミングリングである方の拡大です—— 1:22-23. 4:16 :
 - 1. 福音書において、神と人のミングリングはかしらを生み出しました。使徒行伝において、神と人のミングリングの拡大はキリストのからだを生み出しました——エペソ 1:22-23. 4:15-16。
 - 2. エペソ第 4 章 4 節から 6 節において、四つのパーソン、すなわち、からだ、その霊、主、父なる神が活動的に共にミングリングされています :
 - a. 御父は御子の中に具体化され、御子はその霊として実際化され、その霊は信者たちとミングリングされています。
 - b. このミングリングは、キリストのからだの構成です。
 - 3. 手順を経て究極的に完成された三一の神は、彼ご自身を彼の選ばれた人々の人性の中で彼らとミングリングしています。このミングリングは、キリストのからだの真の一です—— 3 節. ヨハネ 17:21-23。
- E. わたしたちは召会生活のために、ミングリングされた霊のビジョン、すなわち、わたしたちの再生された人の霊とミングリングされた神聖な霊のビジョンを見る必要

があります—— I コリント 6:17. ローマ 8:4 :

1. 御父は御子の中におり、御子はその霊であり、その霊は今やわたしたちの霊とミングリングされています——ヨハネ 14:9-10, 16-18. I コリント 15:45 後半. 6:17. ローマ 8:16。
2. 神と人の結合は、二つの霊の結合、すなわち神の霊と人の霊の結合です (I コリント 2:11-16)。これら二つの霊の結合は、聖書の中の最も深い奥義です。
3. 神のエコノミーの中心点は、ミングリングされた霊、すなわち、人の霊とミングリングされた神聖な霊です。神が行ない、完成しようとするものは何であれ、この中心点と関係があります—— 6:17. エペソ 3:9, 5. 1:17. 2:22. 4:23. 5:18. 6:18。

© 2017 *Living Stream Ministry*